

第59回企画展

谷川連峰

Tanigawa mountain range

絶景といのちが織りなす
エコパークの山々

2019

3/23_土 ~ 5/19_日

休館日 4/1(月)・4/8(月)・4/15(月)・4/22(月)・5/7(火)・5/13(月)・3/25(月)

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(ただし、入館は午後4時30分まで)

観覧料
一般610円(480円)
高校・大学生300円(240円)
中学生以下無料

※()内は、有料観覧者20名以上の団体料金
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健
手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料
※上記料金が常設展も観覧できます



群馬県立自然史博物館
GUNMA MUSEUM OF NATURAL HISTORY



〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 TEL 0274-60-1200

【主催】群馬県立自然史博物館 【共催】みなかみ町

【後援】上毛新聞社 新潟日報社 NHK前橋放送局 群馬テレビ エフエム群馬 ラジオ高崎

第59回企画展

谷川連峰

Tanigawa mountain range

絶景といのちが織りなす
エコパークの山々

本企画展は、谷川連峰の絶景を作り出した地質や雪と氷の営み、そこに生きるユニークで多様な動植物、さらにみなかみユネスコエコパークの核心部での保全活動を美しい写真やバーチャル体験を交えて紹介します。

1 三国山地 — 谷川連峰 — 谷川岳

美しい写真を交えて日本の中での谷川連峰の位置を解説します。谷川連峰の主要部に位置するみなかみ町との関わり、谷川連峰を核心地域とするみなかみユネスコエコパークについて紹介します。

2 山々のなりたち

谷川連峰を構成する岩石や地殻変動、氷や雪の作用から、谷川連峰の地形ができあがった理由を解説します。大型スクリーンやバーチャルクライミングで臨場感あふれる紹介をめざします。

3 氷河と雪がはぐくんだ生き物たち

数々の高山植物やベニヒカゲ(高山蝶)など、貴重な谷川連峰の生き物の特徴を、氷期と雪をキーワードに解き明かしていきます。

4 豊かな森との水の恵み

谷川連峰には豊かなブナの自然林が残り、イヌワシやクマタカなどの猛禽が飛び、谷川岳の麓で発見されたユビソヤナギなどの森がみられる渓流があります。谷川連峰の豊かな自然と、それを活かした人々の営みを紹介します。

5 山からのシグナル

山麓の人々の生活を脅かすニホンザル、侵入が始まったニホンジカ、突然ミズナラやコナラが枯れ始めるナラ枯れ…。近年進行しつつある問題とそれに取り組む人々を紹介します。

エピソード

いつまでも美しく豊かな谷川連峰で
あり続けるために

みなかみユネスコエコパークの山々としての谷川連峰を見守り、後世まで伝えていくために活動されている人々の活動を赤谷プロジェクトと谷川岳エコツーリズムを例に紹介します。

谷川連峰の秘密に迫る!

企画展イベント!

企画展記念シンポジウム

いつまでも美しく豊かな
谷川連峰であり続けるために

講師: 日本自然保護協会

みなかみ町エコパーク推進課

谷川岳エコツーリズム推進協議会

各講師の講演と総合討論会

日程: 4月14日(日) 13:30~15:30

会場: 当館学習室 定員: 100名

企画展観察会

みなかみ町共同企画
谷川岳天神平観察会

講師: 群馬県立自然史博物館職員・

谷川岳エコツーリズム推進協議会会員

日程: 5月26日(日) 9:15~15:00

会場: 谷川岳天神平 定員: 30名

参加費50円(ロープウェイ運賃・リフト運賃等は各自ご負担)

サイエンス・サタデー

イヌワシのモビールをつくろう

講師: 博物館ボランティア・当館職員

日程: 3月2・9・16・23・30日(毎週土曜日)

14:00~15:00

会場: 当館実験室

定員: 30名(当日申込)



群馬県立自然史博物館
GUNMA MUSEUM OF NATURAL HISTORY

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 TEL 0274-60-1200



車の場合

上信越自動車道 富岡I.C.または下仁田I.C.から15分
国道254号 富岡バイパス もみじ平公園入口から北へ800m



電車の場合

JR信越本線・磯部駅/上信電鉄線・上州富岡駅からタクシーで10分
上信電鉄線 上州七日市駅または上州一ノ宮駅から徒歩で25分

みなかみユネスコエコパーク
— since 2017 —

